

自主学習のすすめ<中学校 美術科(例)>



家で取り組める発想や構想の学習アイデア

1 ねらい

生徒が家で過ごす時間を利用して、生活の中の美術に気付き、発想や構想の学習を自主的に進められるようにする。

2 家庭学習例

	題 材	学 習 課 題
絵 や 彫 刻 な ど	風景画・静物画 「印象的な構図」	「家の中で、遠近感のある構図を見付けよう」 「お気に入りの物を並べて、バランスのとれた構図をつくろう」 写真を撮って印刷する。スケッチする。
	想像画 「ありえない世界」	「もし目の前の〇〇が□□したら？と考えてみよう」 イメージマップ等の思考ツールを用いて想像を広げる。 「家の中でフロッターージュ」 作品制作の材料集めとして、家の中にある様々な凹凸模様を浮き上がらせる。
	抽象石彫 「癒しのかたち」	「家の中で、見て触って心地よい形を見付けよう」（鑑賞） 写真を撮って印刷する。スケッチする。感じたことをメモする。
デ ザ イ ン や 工 芸 な ど	ポスター 「社会へのメッセージ」	「新聞記事やテレビニュース等を基に、社会へのメッセージを考えよう」 新聞や雑誌等の記事をスクラップしたり、ニュースをメモしたりして、ポスターの主題を考える。 「家の中にあるグラデーションを探そう」（配色計画に生かす学習） 写真を撮って印刷する。家にある物を並べてグラデーションをつくる。 見付けたグラデーションを絵の具で作って塗る。
	手ぬぐい（ゴム版画） 「願いを込めた文様」	「教科書（資料集、ワークシート）に載っている文様を鑑賞し、家の中にある模様を調査しよう」（鑑賞） 写真を撮って印刷する。スケッチする。感じたことをメモする。
	焼き物 「人をもてなす器」	「家にある食器を“もてなす”という視点で観察してみよう」（鑑賞） 写真を撮って印刷する。スケッチする。感じたことをメモする。

こんなアイデアも

オリジナル資料集をつくろう！

◆準備物

ノートまたはスケッチブック、はさみ、のり、筆記用具等

◆内容

雑誌や広告、包装紙や商品パッケージ等から、自分が“好き、面白い、きれい”だと感じたものを見付け、切り抜いて貼りためていく。

※形や色彩等について気に入った点を簡単に書き添えておくとよいです。

※写真を撮ったり、インターネットで検索したりしたものを印刷して切り貼りしてもよいです。



こうして集めたお気に入りの形や色彩たちは
作品制作の発想や構想の際に大変役立ちます。

互いに
鑑賞し合っても
面白いです。

3 備考

- ・生徒が家庭学習に興味・関心をもつことができるよう、教師自身の発見や体験を語るなど、投げかけ方を工夫することが大切です。
- ・題材の導入として鑑賞活動を取り入れる際は、「心地よいと感じるところはどこだろう」等、発想や構想の学習と鑑賞の学習の双方に働く考えを鑑賞の視点とすることが大切です。この視点は、生徒が家の中で鑑賞する対象を見付けるときにも必要です。